

第7回「自己免疫性胃炎の診断基準確立と その臨床病理学的意義に関する研究会」

プログラム

日時：2026年11月7日（土）14:00～

会場：神戸臨床研究情報センター

時間	内容
14:00	開会の挨拶 春間 賢 先生
14:05	報告 自己免疫性胃炎の内視鏡的萎縮分類と臨床病期に関する多機関後ろ向き観察研究の論文報告 寺尾秀一 先生（加古川中央市民病院 内科）
14:20	① 胃壁細胞抗体価が診断根拠とはなり得なかった自己免疫性胃炎（疑い）症例の報告 伊原隆史 先生（伊原内科医院）
14:40	② 抗胃壁細胞抗体低力価AIG（陰性例を含む）の臨床像 ～VB12欠乏との関連 小寺 徹 先生（宇治徳洲会病院健診センター）
15:00	③ 病理組織診断における自己免疫性胃炎確信度分類の試み 高須綾香 先生、平澤俊明 先生、中野 薫 先生、河内 洋 先生（がん研究会有明病院）
15:25	依頼演題 PCA低力価・偽陽性とAIG診断（仮） 丸山保彦 先生（藤枝市立総合病院）
15:50	休憩
16:00	④ 自己免疫性胃炎におけるROM（Residual Oxyntic mucosa）の内視鏡所見と病理学的所見の検討 丸山保彦 先生（藤枝市立総合病院）
16:25	⑤ 自己免疫性胃炎における胃前庭部粘膜を再検討する ～内視鏡像と組織所見の対比から～ 鈴木志保 先生、寺尾秀一 先生（加古川中央市民病院 内科） 今井幸弘 先生（加古川中央市民病院 病理診断科） 九嶋亮治 先生（滋賀医科大学 医学部 病理学講座・人体病理部門）
16:55	追加発言 1. PPI胃症の病態から見た胃底腺粘膜領域と幽門腺粘膜領域の区分けの妥当性 2. 欧米の見解も踏まえたピロリ感染とAIGの関連性の視点の重要性 伊原隆史 先生（伊原内科医院）
17:05	⑥ 自己免疫性胃炎の胃上部U領域における内視鏡的陰性所見の検討 那須真示 先生（井野辺病院 消化器内科）
17:25	総合討論 AIGは何をもって診断するのか？ － PCA・病理・内視鏡所見から診断基準を再考する －
	閉会の挨拶 春間 賢 先生